

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	財務会計論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	53023			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	経営情報学科			対象学年	3		
開設期	4th-Q			週時間数	4		
教科書/教材	『ビジネスセンスが身につく会计学』成川正晃、他（中央経済社）						
担当教員	山根 陽一						
到達目標							
本講義では、財務諸表を理解するために、必要となる会計の知識、会計の処理を学習する。到達目標は以下の通りである。 (1) 各営業活動の会計処理に関する会計準則を説明でき、基準を適用して会計処理ができる。 (2) 国際活動の会計処理を説明できる。 (3) 財務諸表の作成と公開を説明でき、財務諸表を適用して、企業経営を分析できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	会計基準に基づいて、各営業活動に関する会計処理ができる。		会計基準に基づいて、各営業活動に関する会計処理が3 / 4 程度できる。		会計基準に基づいて、各営業活動に関する会計処理が3 / 5 程度できる。		会計基準に基づいて、各営業活動に関する会計処理がほぼできない。
評価項目2	企業活動の国際化に伴う会計問題の処理ができる。		企業活動の国際化に伴う会計問題の処理が3 / 4 程度できる。		企業活動の国際化に伴う会計問題の処理が3 / 5 程度できる。		企業活動の国際化に伴う会計問題の処理がほぼできない。
評価項目3	財務情報ディスクロージャーの体系を説明でき、財務諸表を適用して企業経営を分析できる。		財務情報ディスクロージャーの体系を概ね説明でき、財務諸表を適用して企業経営を3 / 4 程度分析できる。		財務情報ディスクロージャーの体系を大抵説明でき、財務諸表を適用して企業経営を3 / 5 程度分析できる。		財務情報ディスクロージャーの体系をほぼ説明できず、財務諸表を適用して企業経営ができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第4学期開講 ※実務との関係 この科目は企業で販売管理システムの設計・開発などに携わっていた教員が、その経験を生かし、会計処理を含む財務会計システムの理論と特徴などについて講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	財務会計論Ⅰに引き続き、企業の各種経営活動に関する会計基準と会計処理を学習することによって、企業全体の活動およびそれを反映する財務諸表体系に対する理解を深めていく。さらに、企業活動のグローバル展開によって生じた取引の会計処理も学習し、会計基準と会計実務を総合的に理解できることを目指している。最後、外部の利害関係者に対してディスクロージャーされた財務情報を利用し、企業経営を分析できることを図りたい。						
注意点	本講義では、財務諸表の作成者の視点から学習を進め、企業活動に対する適切な会計処理をできることを図ります。しかし、財務諸表の利用者、例えば、投資家の視点から、企業によって公表された財務諸表を通じて、企業活動を分析することも有用な能力です。会計基準と会計処理を理解する上で、分析の視点から、財務会計の手続きを理解する必要があります。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	4thQ	9週	配当①			・ 剰余金の配当について説明できる。 ・ 配当規則と債権者保護について説明できる。	
		10週	配当②			・ 剰余金の処分について説明できる。	
		11週	国際活動①			・ 企業活動の国際化に伴う会計問題を説明できる。	
		12週	国際活動②			・ 為替リスクを説明でき、為替差損益の計算ができる。	
		13週	財務諸表の作成と公開①			・ 財務諸表の体系と公開を説明できる。	
		14週	財務諸表の作成と公開②			・ 損益計算書の内容を説明できる。 ・ 包括利益の意味と表示を説明できる。	
		15週	定期試験				
		16週	答案返却・回答解説			・ 試験問題の解説を通じて、間違った箇所を説明できる。 ・ 全体の学習事項のまとめを説明できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	経済・ビジネス系分野	会計	財務会計の役割、法規制について説明できる。		4	
				財務会計の基本原則について説明できる。		4	
				貸借対照表の区分と内容について説明できる。		4	
				損益計算書の区分と内容について説明できる。		4	
				財務諸表の各項目の認識および測定方法について説明できる。		4	
				キャッシュフローの計算書の区分と内容について説明できる。		4	
				連結財務諸表の連結の範囲について説明できる。		4	
				連結財務諸表の作成について説明できる。		4	
				財務諸表分析の指標について説明できる。		4	
				会計基準のグローバル化について説明できる。		4	

評価割合			
	試験	レポート・宿題	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	20	0	20
専門的能力	20	20	40
思考・推論・創造への適用力	20	20	40